

授業概要 7/22(月)

7月22日(月)

2時限 10:40 ~ 12:10

科目名	担当教員	概要
視覚伝達デザイン	高嶋 啓	デザインの現場で役立つように、より実践的なグラフィック作品の制作を行う。広告ポスター、ロゴ、装丁等について、発案・企画から制作および入稿準備まで計画的に行う。
観光ビジネス	大島慎子	21世紀の主要産業ともいわれる観光ビジネスは、移動手段である交通（航空、鉄道、バス、船）、宿泊手段であるホテルや旅館と、地域の観光資源（自然景観、文化遺産、住民の生活、食）が一体となり、そこに人間が交流して感動や思い出をつくるという複合的なものである。また、人が観光旅行をするためには、余暇、休日、所得、消費行動や生活意識の問題もある。講義では旅行業、運輸業、リゾートビジネス、テーマパーク、クルーズなど業界の特性と集客戦略を総合的に学ぶ。
コンピュータシステム	高藤清美	計測・制御は一般社会のコンピュータの活用方法としても重要なものの一つで、今や多くの機械・装置で計測・制御システムが稼働している。本授業では、標準的な計測・制御システムの動作方法や考え方といった基本的な事柄を学習するとともに、パーソナルコンピュータやマイクロプロセッサを用いた計測・制御システムの実験もおこなう。
金融A	鈴木則稔	日本や欧米の大学レベルで講義される標準的分野を中心に、基本的な知識の履修を目指す。また、欧州財政危機に関わる「債券価格の理論」では、国債価格の計算シミュレーションなども行う。
人間の情報表現A	吉田真澄	人間が情報と触れ合う第一歩は、五感による情報入力とその表現である。子どもが簡単にゲーム機やPCを操るのは、知識に依存しない感覚表現の賜物である。これを“ノンバーバルな感覚”と呼ぶが、未知の部分も多い。ここでは主に情報の大半を占める視覚と触覚を取り上げ、ノンバーバルにおける情報表現を検討する。さらに、その具体例として、花形の携帯電話用データエントリとしての触覚情報処理も探求する。
データ分析と統計1	垣花京子	高度情報化の社会で、多くのデジタルデータが手に入り、表やグラフで表現されている。統計的な問題解決の考え方、分析するための手法及びその解釈のしかたについて学ぶ。本講座では、世の中にあるデータをまとめ、集計、整理し、解釈する統計的探究活動を通して、基本統計を中心に学ぶ。また、統計調査について学び、具体的にアンケート調査を実施し、その集計、解釈をポスターの形で表現する。
都市の経営A	木下知己	ビジネスを生活者や消費者の視点から捉え、そのための学問基盤を都市経済学として位置付ける。都市経済の課題である都市の経営及び地球環境問題の関わりについて、ITが果たしてきた役割と成果を学び、ビジネスの成功事例を考える。
経済安全保障1	木村卓司	安全保障は従来の軍事的分野に加えて、1980年代頃から非軍事的分野を加えて考えるのが一般的になった。その中でも近年、特に注目されているのが経済安全保障である。中での戦略物資や食料の輸出入、経済制裁、経済援助などの重要性は、従来の軍事的手段に匹敵するほどになっている。この授業では、こうした諸点を踏まえながら、経済安全保障の基本概念と背景、思想系譜、発展経緯などを概観する。
学際科目A（こころの不思議）	佐野 司	人間の“こころ”とはどのようなものか？この興味深いテーマに挑んでいるのが心理学である。本講座では、多方面にわたるこころの問題について、心理学の視点から解き明かしていく。さまざまな心理学の分野から分かりやすいトピックスを集め、講義形式で授業を行なう。心理学とはどのような学問なのか？実践的なデータをもとに論じられるその考え方を理解することを目標とする。

3時限 13:20 ~ 14:50

科目名	担当教員	概要
自立生活デザイン	右田玲子	心身機能は、加齢や環境要因による機能低下、慢性疾患による機能不全や運動量の減少、環境が原因となるストレスにより変化する。また、各個人の心身機能の許容量には差がある。心身機能の変化に対応し、生活習慣の改善、環境改善など自助努力で低下を予防、あるいは、改善できる事例がある。研究結果など実例を通して、自立した社会生活を営む上で、重要と思われる心身機能の変化への対応策を学ぶ。
ネットワーク活用A	山野井一夫	現在、インターネットは生活に欠かせないコミュニケーションの道具となった。本講座ではインターネットで使われる通信プロトコルや各種サーバーの仕組みをメールやブラウザなどよく使われるアプリケーションソフトを利用して学ぶ。さらに、インターネットのような具体例を通して、通信ネットワークの基本的な仕組みや構成方法を学ぶ。
ミクロ経済学A	鈴木則稔	市場経済を見る学問の基本であるミクロ経済学の初級～中級の習得を目指す。内容、レベルは、日本や欧米の大学での経済学教育で標準とされる程度を目安とする。
写真と文化	坂本 要	ヴィジュアル情報を絵画と写真を比較しながら講ずる。近代以前の絵画から芸術としての絵画の誕生。記号としての絵画から写実絵画へ、さらに個人表現へ。その過程での絵画を解体させるといふ現代絵画の様々な方向をなぞっていき、それと平行して発展しながら独自の表現を模索している写真表現について考える。

4時限 15:00 ~ 16:30

科目名	担当教員	概要
国際政治経済	木村卓司	国際関係論においては1970年代から、国際政治と国際経済のリンク（連携）が進み、両者を統合して研究することが一般的となった。この背景には第一次石油危機(1973年)を発端とする資源ナショナリズムによって、経済問題が政治・軍事問題に大きな影響を与えるほど重要化したという、国際関係の劇的な変化が存在していた。この授業ではクラウス・ノーア(Klaus Knorr)、ロバート・コヘイン(Robert Keohane)、ロバート・ギルピン(Robert Gilpin)などに代表される国際政治経済学の理論的系譜と基本概念、ならびにその実態を講義と演習によって学ぶ。
映像記録	坂本 要	1929年以前のサイレント・ムービー（無声映画）を中心に映像文化とはなにかを考える。年代別・分野別・に代表的な作品を見ながら、映画の原点について講じる。
マンガ・アニメ	高嶋 啓	マンガやアニメーションは現代文化における主要な表現方法として発達してきた。また、一大産業分野としても確立し、マンガやアニメーションを核としてゲーム、玩具、キャラクターグッズ、小説等、周辺分野を巻き込み、さらに発展する勢いである。マンガやアニメーション制作における、CG制作技術、キャラクターデザイン技法、美術解剖学、デッサン、キャラクターデザイン技法などを実践的に講義するとともに、オリジナルのコンテンツ制作も行う。
航空ビジネスA	大島慎子	ライト兄弟が初めて飛行してから100年ほどの間に、航空機は目覚ましい発展をとげ、地球規模での高速移動、高速輸送に貢献している。この講義では、航空業界の歴史、航空機の発達、第二次世界大戦後の航空業界の枠組みでのシカゴ体制、および航空会社のサービス全般など基本的な知識と業務知識を中心に学ぶ。特に60年代から予約業務に取り入れられたコンピューターの発達により航空会社の営業戦略がどのように変遷しているかを検証する。